

# 決算報告書のマイナス符号設定

< 勘定奉行21シリーズ全般 >

この資料では、決算報告書上の特定の科目について、マイナス表示をするかどうかについて説明します。

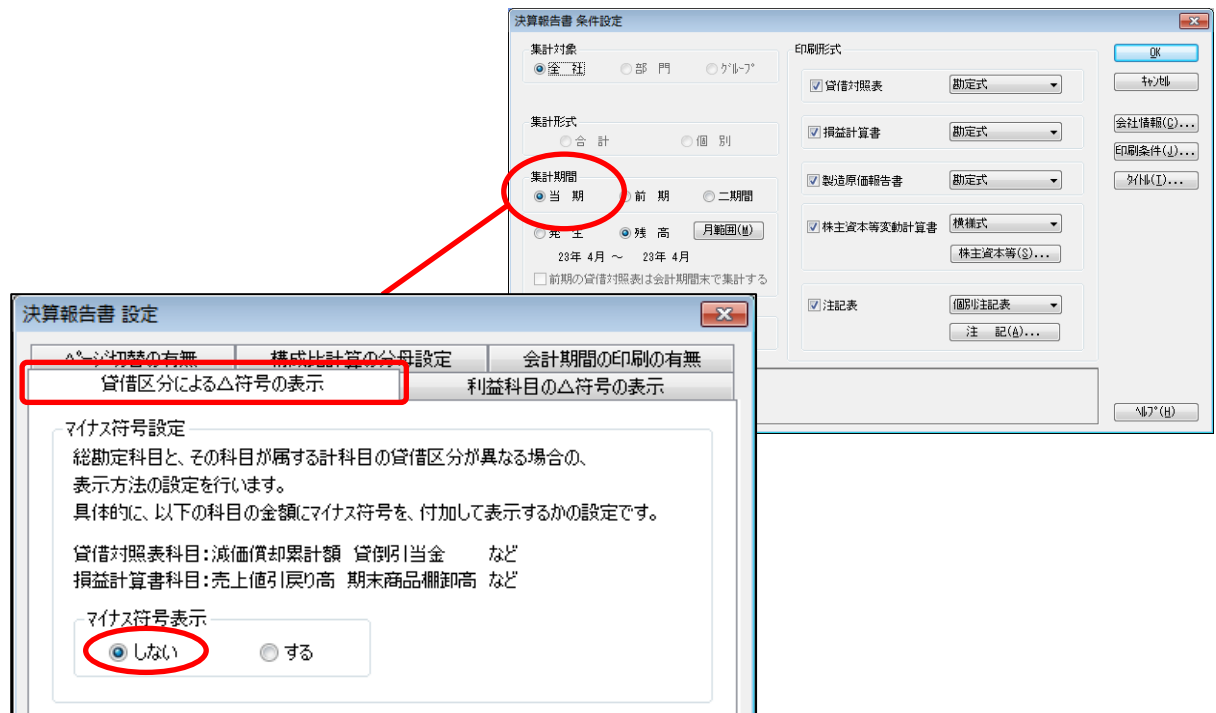
## 貸倒引当金のマイナス符号を表示したくない

貸借対照表科目の「貸倒引当金」「減価償却累計額」や、損益計算書科目の「売上値引戻り高」「期末商品棚卸高」などは、マイナス符号が表示されるように初期設定されています。

マイナス符号を付加しない(表示しない)場合には、以下の操作を行います。

- ① [決算報告書 条件設定] ダイアログボックス上の[集計期間]の「当期」をクリックし、**[Shift]** キーを押したまま **[Enter]** キーを押すと、[決算報告書 設定] ダイアログボックスが表示されます。

**[貸借区分による△符号の表示]** タブを選択し、マイナス符号表示「しない」を選択して <OK> ボタンを押します。



- ② 決算報告書の画面で、符号の表示が変更されているかを確認します。

《マイナス符号を表示する場合》

貸倒引当金	△4,850,000	
-------	------------	--

《マイナス符号を表示しない場合》

貸倒引当金	4,850,000	
-------	-----------	--

## 利益科目のマイナス符号を表示したくない

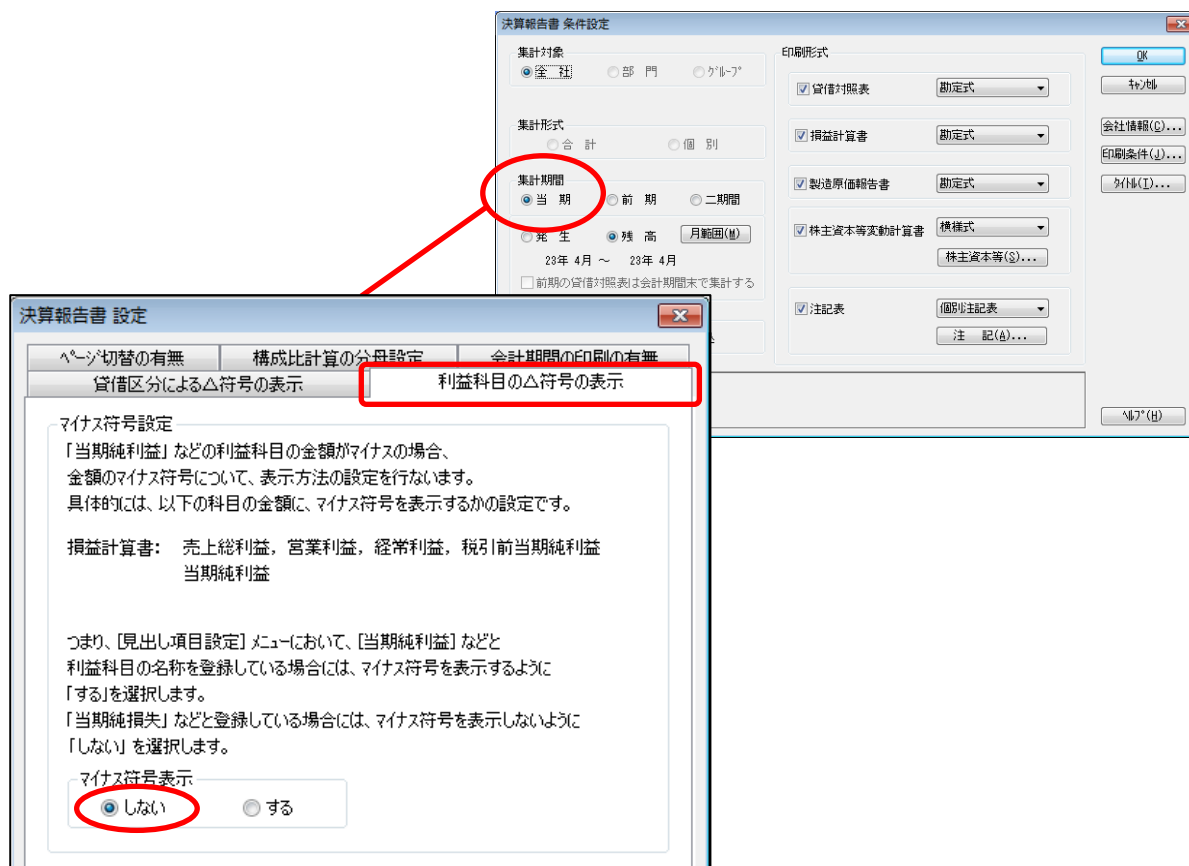
損益計算書科目の「当期純利益」などの利益科目について、マイナス金額の場合には、マイナス符号が表示されるように初期設定されています。

しかし、これらの利益科目を、名前を変えて「当期純損失」などの損失科目に名称変更している場合には、マイナス金額であっても、マイナス符号を表示する必要はありません。

マイナス符号を表示しない場合には、以下の操作を行います。

- ① [決算報告書 条件設定] ダイアログボックス上の[集計期間]の「当期」をクリックし、**Shift** キーを押したまま **Enter** キーを押すと、[決算報告書 設定] ダイアログボックスが表示されます。

**[利益科目の△符号の表示]** タブを選択し、マイナス符号表示「しない」を選択して <OK> ボタンを押します。



- ② 決算報告書の画面で、符号の表示が変更されているかを確認します。

《マイナス符号を表示する場合》

当期純利益		△5,675,914
-------	--	------------

《マイナス符号を表示しない場合》

当期純損失		5,675,914
-------	--	-----------